

令和4年度NPOとの協働に関する学生等意識調査アンケート 調査結果報告

調査概要

◆ 調査目的

- ・本調査は今後、当センターによる学生等への市民活動及びボランティアに関する支援計画の策定や普及啓発事業のため基礎的知見とさせていただくことを目的としています。

◆ 調査項目

- ・学生等の市民活動や地域貢献活動の実態及びSDGsの認知度

◆ 調査方法

- ・Googleformsによる回収

◆ 調査対象

- ・NPOに興味がある、または、NPO等に関わりのある学生等

◆ 調査期間

- ・令和4年10月1日～10月31日実施

◆ 回答件数及び回答率

- ・回答団体数：26団体
- ・有効回答数：32回答(人)

※「複数回答可」の設問では、1人が複数回答しているため、合計が合わない場合があります。

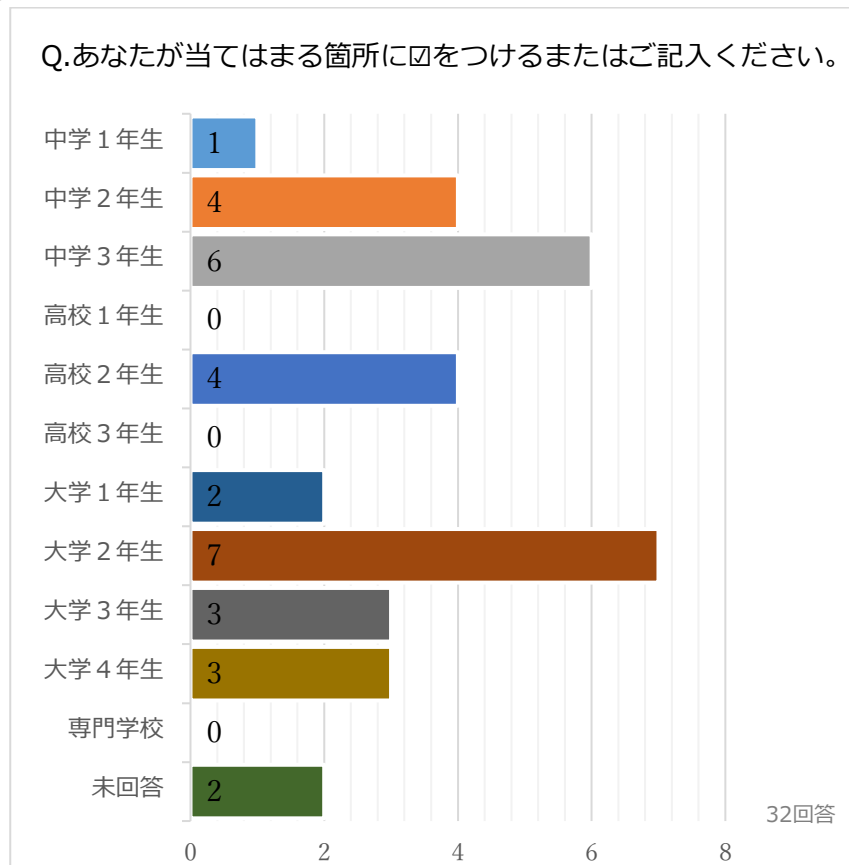
◆ 調査結果概要

子ども支援を行う団体や学生等が中心に活動している団体、市内学校の一部に調査のご協力をいただいた。そのため、市民活動に関わった経験がある人が全体の約8割となり、回答者の状況を反映している調査となった。回答者のうち、約47%は現在も活動を続けているが、約31%は忙しいなどの理由で活動を継続できていない様子が見えてくる。

活動の参加のきっかけについては、全体として、友人、家族、学校などの身近な人から誘われたからという理由が最も多かった。次に、ボランティア等の活動にもともと興味があり自主的に調べたという理由が続く。市民活動の情報についても同じような結果となっており、学生が市民活動を知り、参加するためには、身近な人が市民活動のきっかけづくりにご協力いただくことが重要であると思われる。

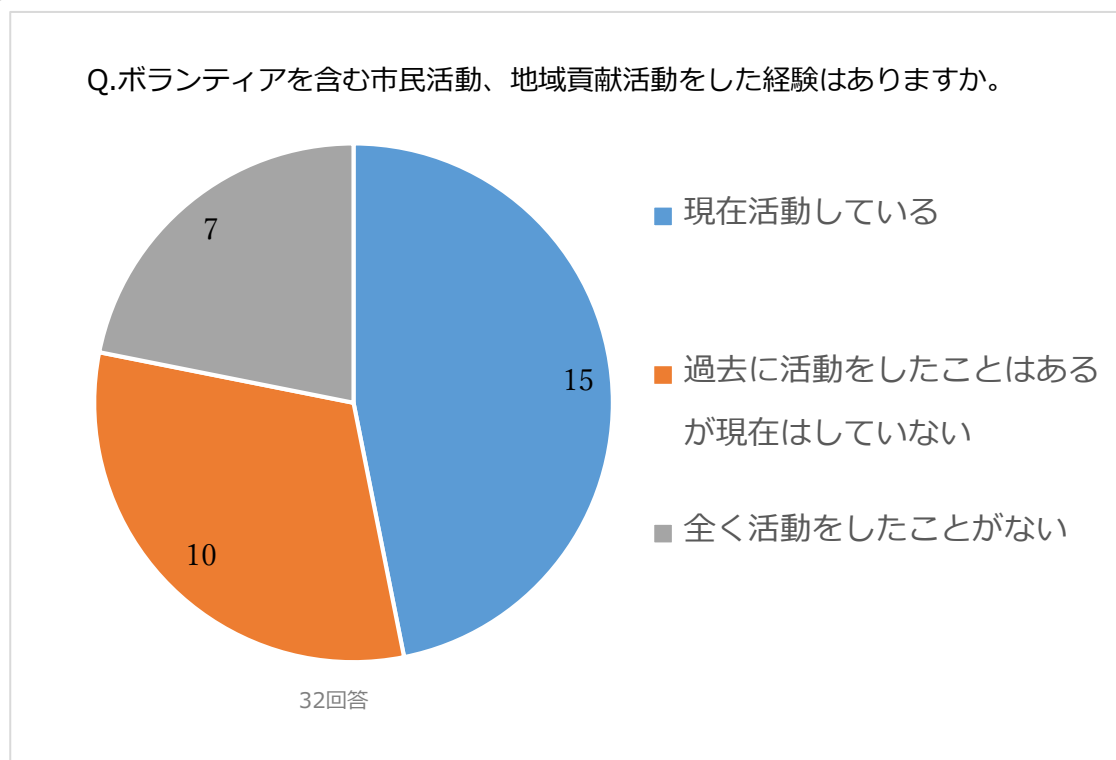
次に、市民活動への支援としては、「活動をする人たちが気軽に集まる場所があり、情報交換できる」ことのニーズが最も高かった。次に、情報入手の容易さの要望が多く、知識等を学ぶ機会、時間の確保、家族の理解、学校の単位認定、資金面などへの支援の要望が続く。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、気軽に集まれる場を作ることは難しい状況が続いているが、短時間、少人数、回数を増やす、オンラインの活用などの工夫をして、集まる場所を設けることを検討していきたい。

Q1.



回答者の分類としては、大学2年生の7人、続いて中学3年生の6人が多かった。

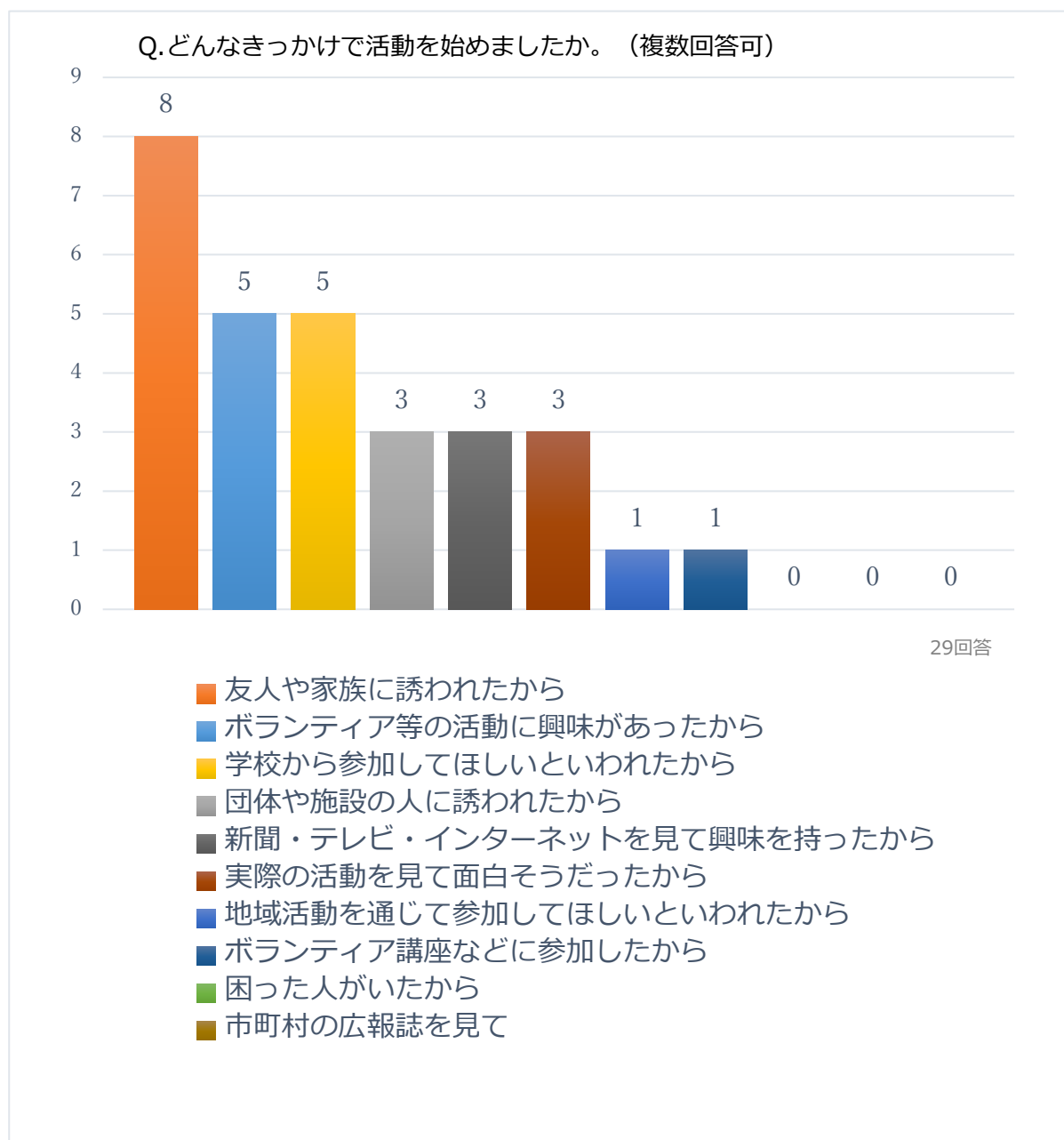
Q2



「現在活動している」46.9%（15 回答）、「過去に活動をしたことはあるが現在はしていない」31.2%（10 回答）、「全く活動をしたことがない」21.9%（7 回答）となった。

【ボランティアを含む市民活動、地域貢献活動をした経験で「現在活動している」を選んだ方への質問】

Q3-1



「友人や家族に誘われたから」が8回答と最も多く、続いて「ボランティア等の活動に興味があったから」「学校から参加してほしいといわれたから」が5回答となり、友人や家族、学校など身近なところからの声掛けをきっかけに市民活動を始めた様子が見えてくる。

Q3-2

Q. 具体的にどのような活動をしましたか。

個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

- ・児童養護施設で子どもたちの勉強を見る。
- ・路上生活支援として見回りや食事会。
- ・放課後の子どもたちの居場所で遊びや勉強を見る。

- ・フリースクールで生徒と交流。
- ・障がい者施設や放課後デイで活動。
- ・高齢者の集まりで食事やお話。
- ・外国から来た子への学習支援。
- ・小学生への宿題指導。
- ・松山市内の祭りの開催準備や設備設営。
- ・子どもの自然体験活動の運営。
- ・主権者教育。
- ・小学生を対象とした街づくりイベントの企画運営・開催。
- ・子ども食堂の開催・高校生や大学生との交流会・就職活動に関するイベントの企画や運営。
中学校で、まちづくり事業の企画。
- ・松山市内で、松山市の標語を集めるイベントの企画。
- ・ピア活動、中高生への性教育講座。
- ・高校生対象のピア活動。

Q3- 3

Q.その活動に参加した目的・理由はなんですか。

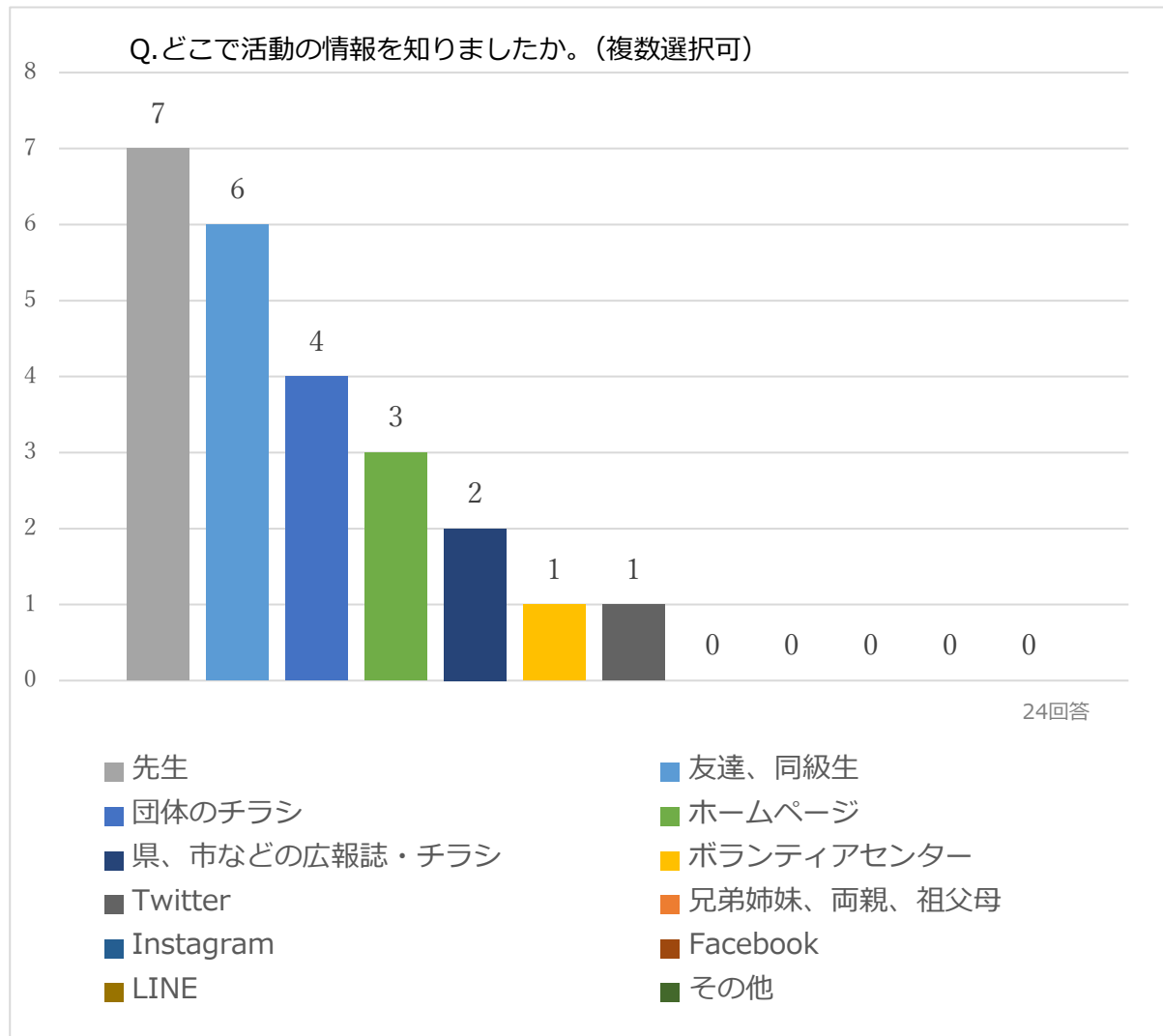
個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

- ・児童の現状を知る課題のため。
- ・教育関係に興味があったから。
- ・友達に誘われて、楽しそうと思ったから。
- ・将来教員を目指しており、教育実習以外でより深く子供たちと関わる機会が必要だと感じたから。
- ・色々な理由を抱えた子供とのかかわり方を学びたかったから。
- ・社会貢献の経験をしたかったから。
- ・子供が好きだから。
- ・人と関わりたかったから。
- ・日頃関わることでできない小学生との繋がりができるので楽しいから。
- ・子どもたちと触れ合える自然体験活動について興味があったため。
- ・自分と同じような人と就活悩みの共有し、解決策を一緒に考えたいから。
- ・松山市民として、よりよい松山にしたいと思ったから。
- ・地域の活性化のため。
- ・松山市の学生が今感じているうれしかったことや悲しかった思いを標語にすることで、その標語を参考にして松山市についてもう一度見つめなおすことができるから。
- ・将来に活かせると思ったから。
- ・活動に興味があったから。
- ・資格を活かして活動したかったから。

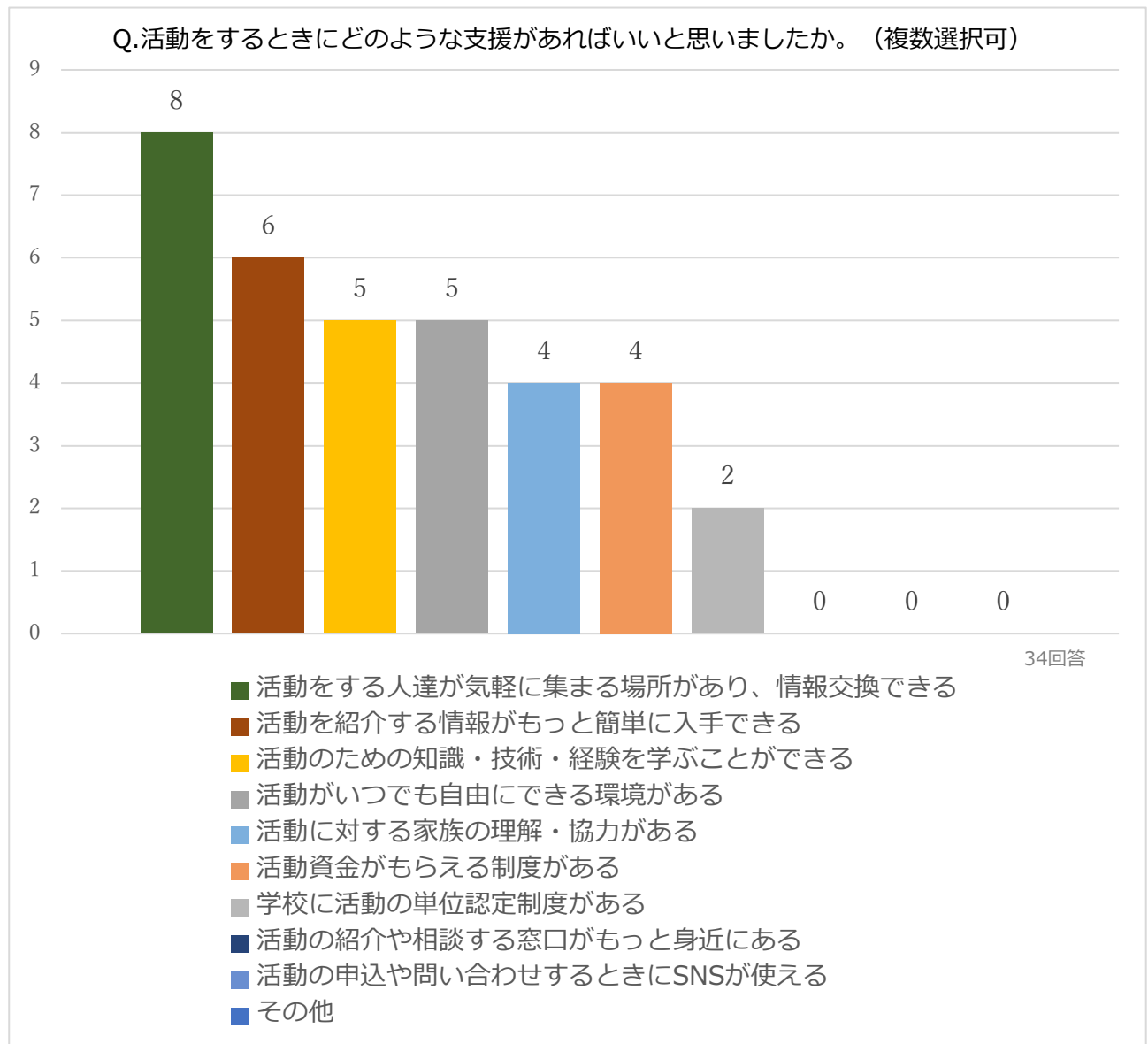
Q.その活動に参加したことで、どのような感想をもちましたか。

個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

- ・児童、高齢、障がいの福祉分野で活動をして、各分野の現状やこれから必要なことなどを知ることができました。また、ボランティアの必要性や、さまざまな人との交流ができ、社会の一員として貢献していくことの意味を感じました。
- ・できないことが多いがそれでもそれができるようになったら面白いと思った。
- ・自分の知らない地域の方々と触れ合える良い機会でした。またボランティアを通して同学科の友達とも仲良くなれて素敵な1日になりました。
- ・子供たちのあれしたい、これしたいという気持ちを大切に、大人の勝手な考えや意見を押しつけることは良くないと学んだ。また、子供たちと関わる上でまずは、自分が心を開いていかないと子供たちもひらいてくれないと感じた。
- ・社会の難しさ、子供の発想力を知れた。
- ・私は高校生の最高学年として、同期とともに高校生スタッフをまとめたり、イベントの企画をしたりしていた。みんなのスケジュール調整やイベント内容の周知など、人に伝える、動かすことの難しさを感じた。だがそれとともに、みんなでひとつのものを作り上げることのやりがい、達成感を感じ、参加者含め関わってくれた方に感謝の気持ちが生まれた。
- ・コロナ禍の影響もあるのかコミュニケーションの難しさを実感しました。
- ・子どもたちがのびのびと活動できる場の大切さを学んだ。
- ・就活だけでなく、チームでの動き方や周りを自分のやりたいことに巻き込んで一緒に楽しむ力がついていた。社会に出た時に、立ち回りに困ることのない力がついてきていると実感している。
- ・様々な企画を聞いて、松山市がどのような活動をしているのか知ることができ、より自分達が住んでいる松山に関心をもつことが出来ました。
- ・いろいろな人が考えた企画を聞くことで、もっと松山に貢献したいと思った。
- ・こういった活動はたくさんの方が関わり、協力があるから成り立つのだと思いました。
- ・まだ活動途中ではあるけれど、仲間たちと真剣に考えることで松山がもっと安心安全な街へとなっていってほしいと思います。
- ・中高生が興味を持って聞いてくれるのが嬉しい。
- ・達成感と伝えることの難しさ

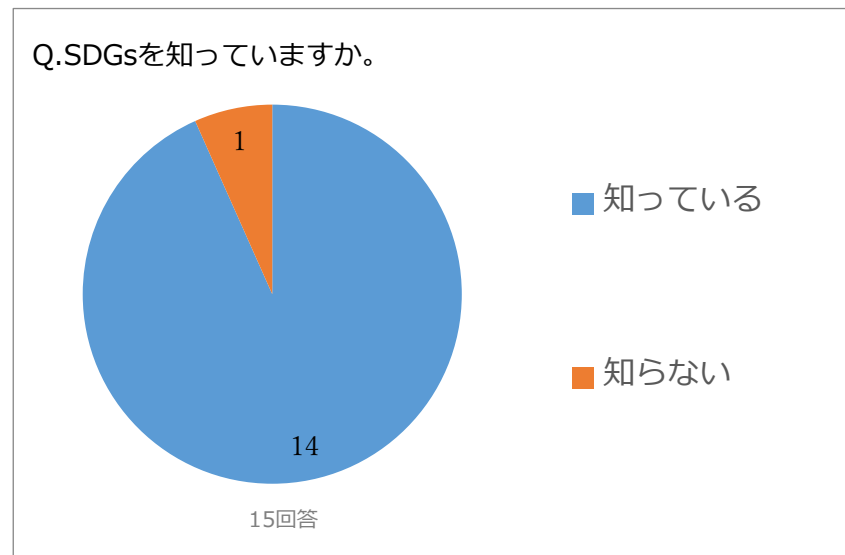


「先生」からが7回答と最も多く、続いて「友達、同級生」が6回答、「団体チラシ」が4回答となっている。学校の先生や友達、同級生など身近な人に市民活動の情報を教えてもらったことがきっかけになっているが、団体チラシを見た人もおり、一定の効果があることがうかがえる。



「活動をする人達が気軽に集まる場所があり、情報交換できる」8回答、「活動を紹介する情報がもっと簡単に入手できる」6回答、「活動のための知識・技術・経験を学ぶことができる」「活動がいつでも自由にできる環境がある」が5回答となっている。市民活動を行う人が気軽に集まれる場所があり、情報交換できることや活動情報をもっと簡単に入手できる環境、活動のための知識等を学ぶ機会、活動環境への支援を求めていることがうかがえる。

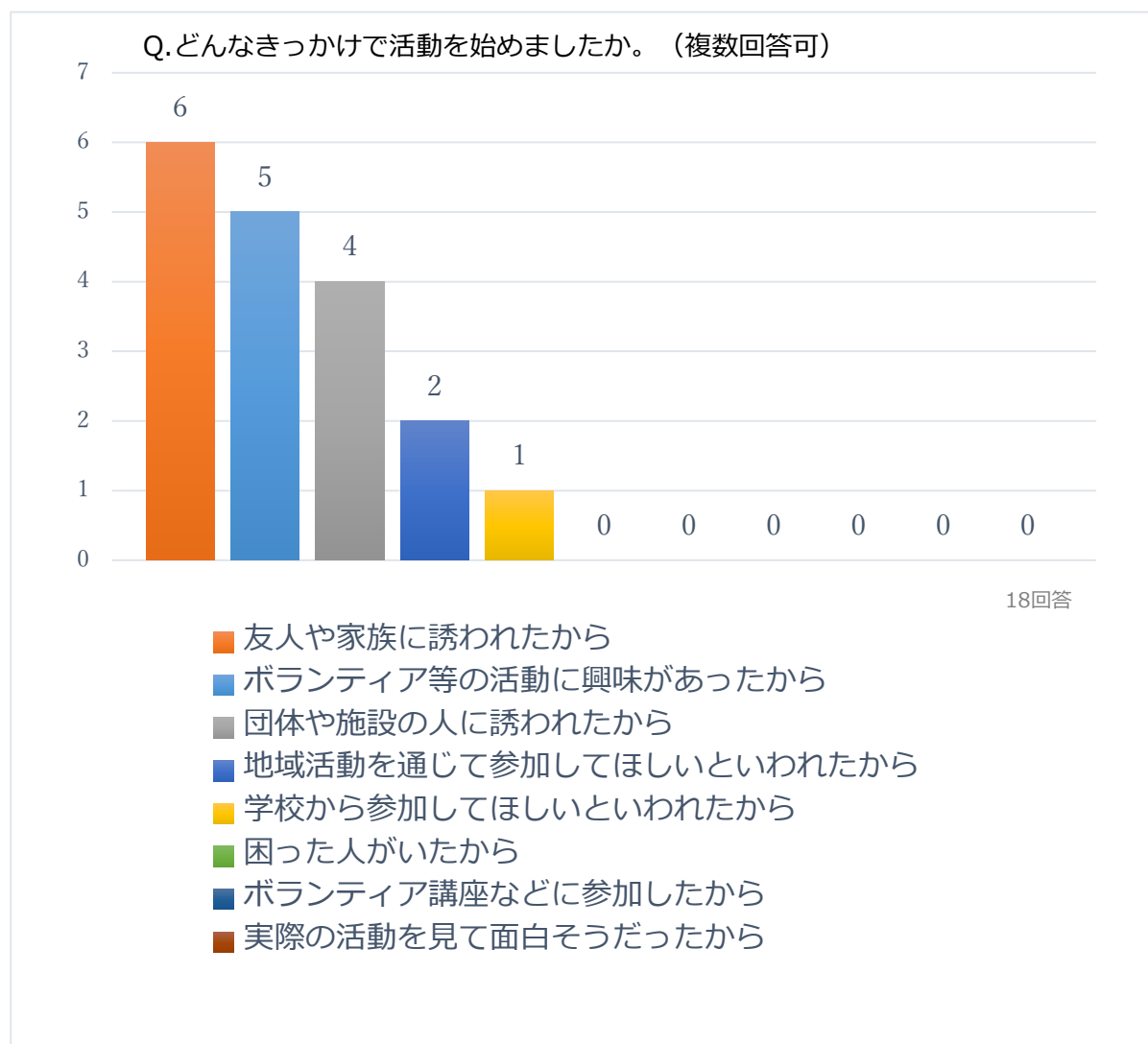
Q3- 7



「SDGs を知っている」 93.3% (14 回答)、「SDGs を知らない」 6.7% (1 回答) となっている。
SDGs 認知度が高まっている様子がうかがえる。

【ボランティアを含む市民活動、地域貢献活動をした経験で「過去に活動をしたことはあるが、現在はしていない」を選んだ方への質問】

Q3-1



「友人や家族に誘われたから」が6回答と最も多く、続いて「ボランティア等の活動に興味があったから」5回答、「団体や施設の人に誘われたから」が4回答となり、友人や家族など身近なところからの声掛けをきっかけに市民活動を始めた人が多いようだが、ボランティア等の活動に興味があるなど自主的に行動した人もいる様子がうかがえる。

Q3-2

Q.具体的にどのような活動をしましたか。

個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

- ・ こどものイベントのボランティア。
- ・ 山などでの自然体験活動のスタッフ。
- ・ 募金。
- ・ 地域の公園の清掃。
- ・ 老人ホームを訪れ、演奏したり歌を歌ったりした。

- ・地域のお祭りでみこし担ぎ。
- ・秋祭りの参加。
- ・愛媛マラソンの手伝い。
- ・駅周辺の清掃活動。

Q3-3

Q. その活動に参加した目的・理由は何ですか。

個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

- ・子どもとの関わりが持てるボランティアに参加したかったから。
- ・経験したことないことを経験しようと思ったから。
- ・話が来た時、たまには外で動くのも大事だと思ったため。
- ・子どもと関わるボランティアがしてみたかったから。
- ・付き合い。
- ・人が集まる場所である公園を綺麗にし、過ごしやすくするため。
- ・慰問では老人ホームで過ごしておられるおじいちゃんおばあちゃんに少しでも楽しんでほしかったから。
- ・地域の活動に参加するのが好きだったし、毎年みこしを担いでいて楽しかったから。
- ・友達と交流できるから。
- ・自分の経験として役に立つと思ったし、おもしろそうだったから。
- ・大学入試でボランティア活動について話せるようにするため。

Q3-4

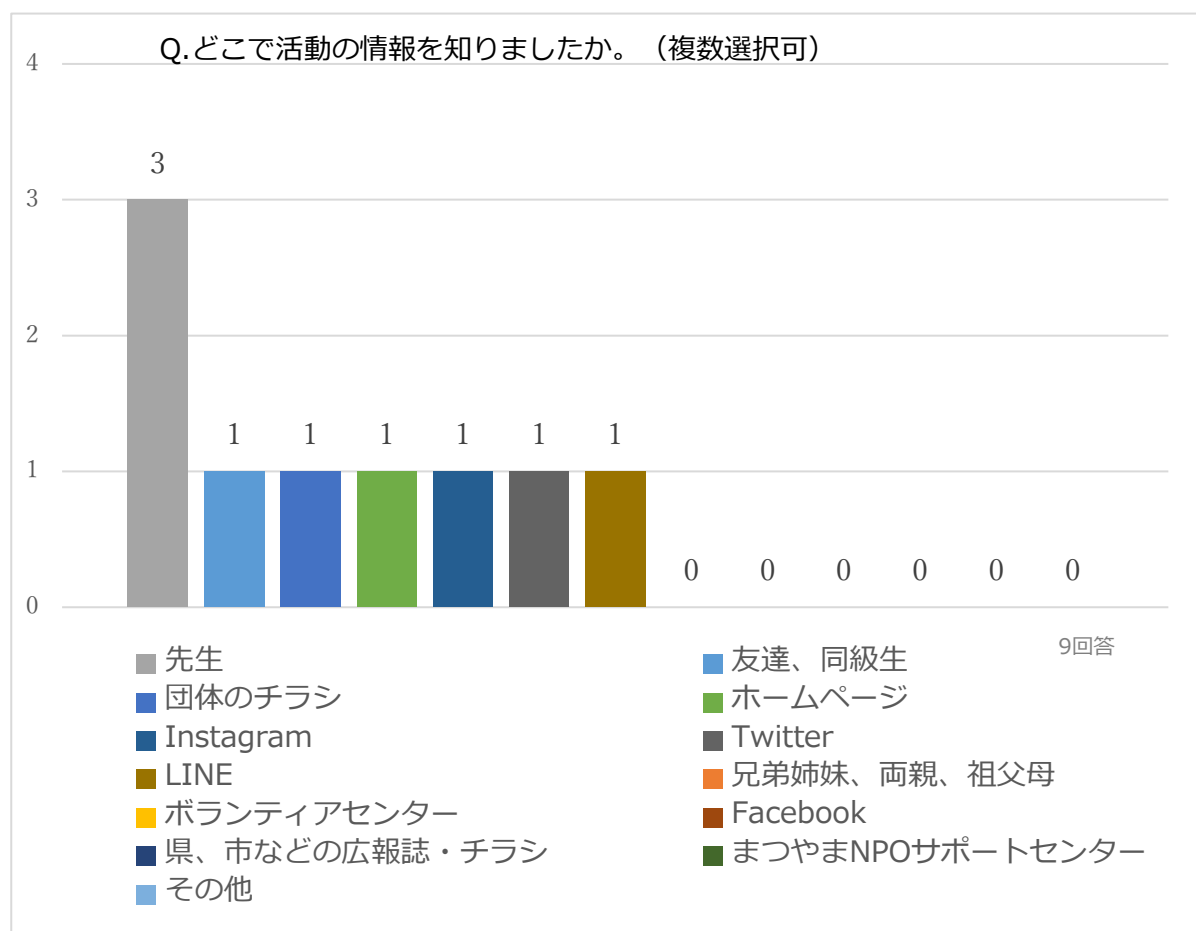
Q. その活動に参加したことで、どのような感想をもちましたか。

個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

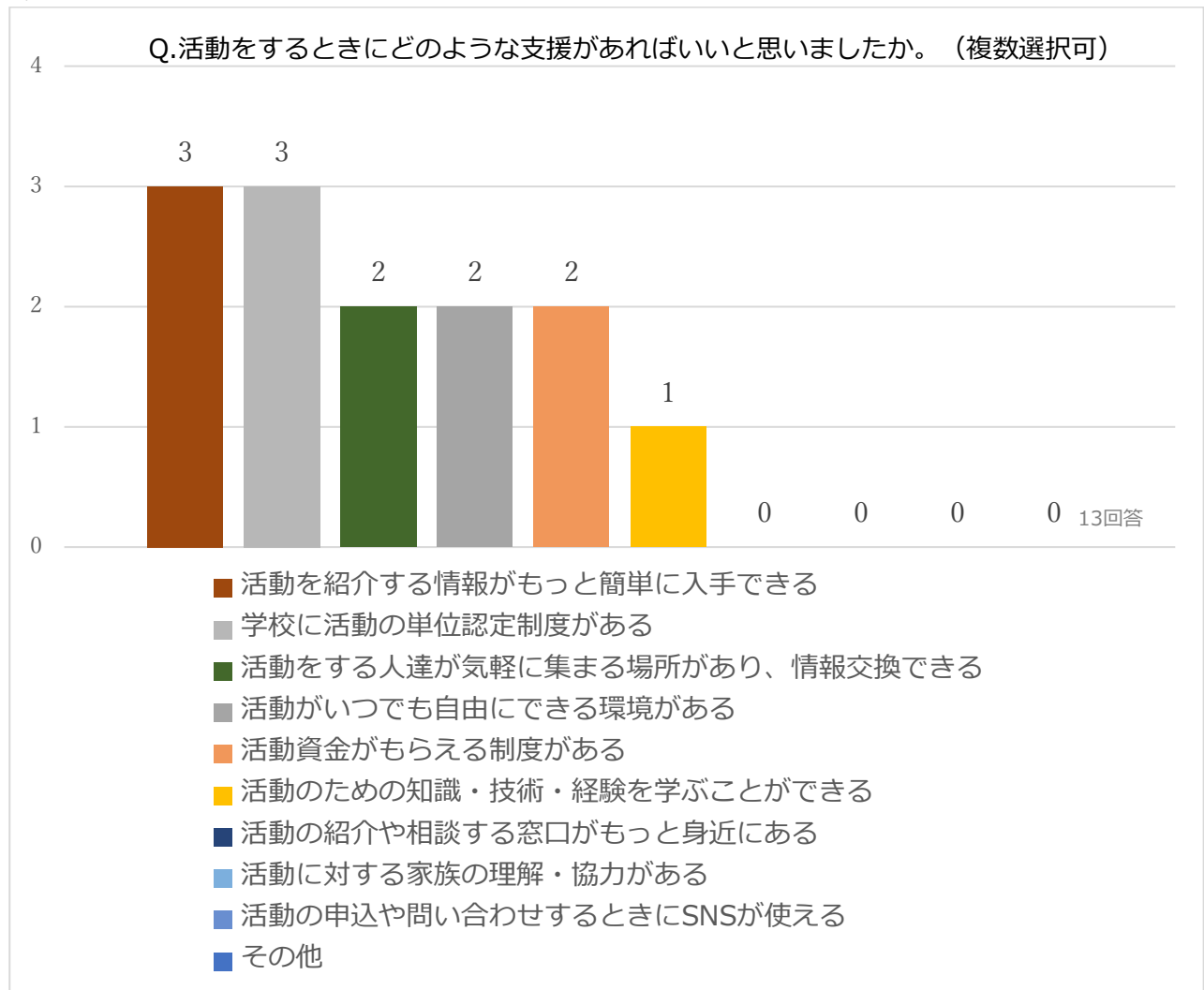
- ・子供たちが興味を持ったことに全面的にサポートをする事で、今まで見えていなかった子どもの長所を見つけることができた。
- ・こどもから元気もらった。
- ・自然の中で過ごすのは非日常を感じれて面白いですし、子供や他のスタッフと関わることでコミュニケーションも取れてよかったです。
- ・支援員の方を含め、あらゆる世代の方と関わりを持てて、いいと思った。
- ・大変。
- ・数ヶ月に1回しかないが、とても大変だった。誰かのために何かをするということは大切だと思った。
- ・地域に自分のような若者が貢献するのはとても大切なことだと思った。この地域の未来を作るのは自分だと活動に参加することでより強く感じた。
- ・地域の歴史について知りたくなった。
- ・楽しかったし、達成感がありました。

- ・誰かのためになるようなことをするのは気持ちが良いと感じた。

Q3- 5

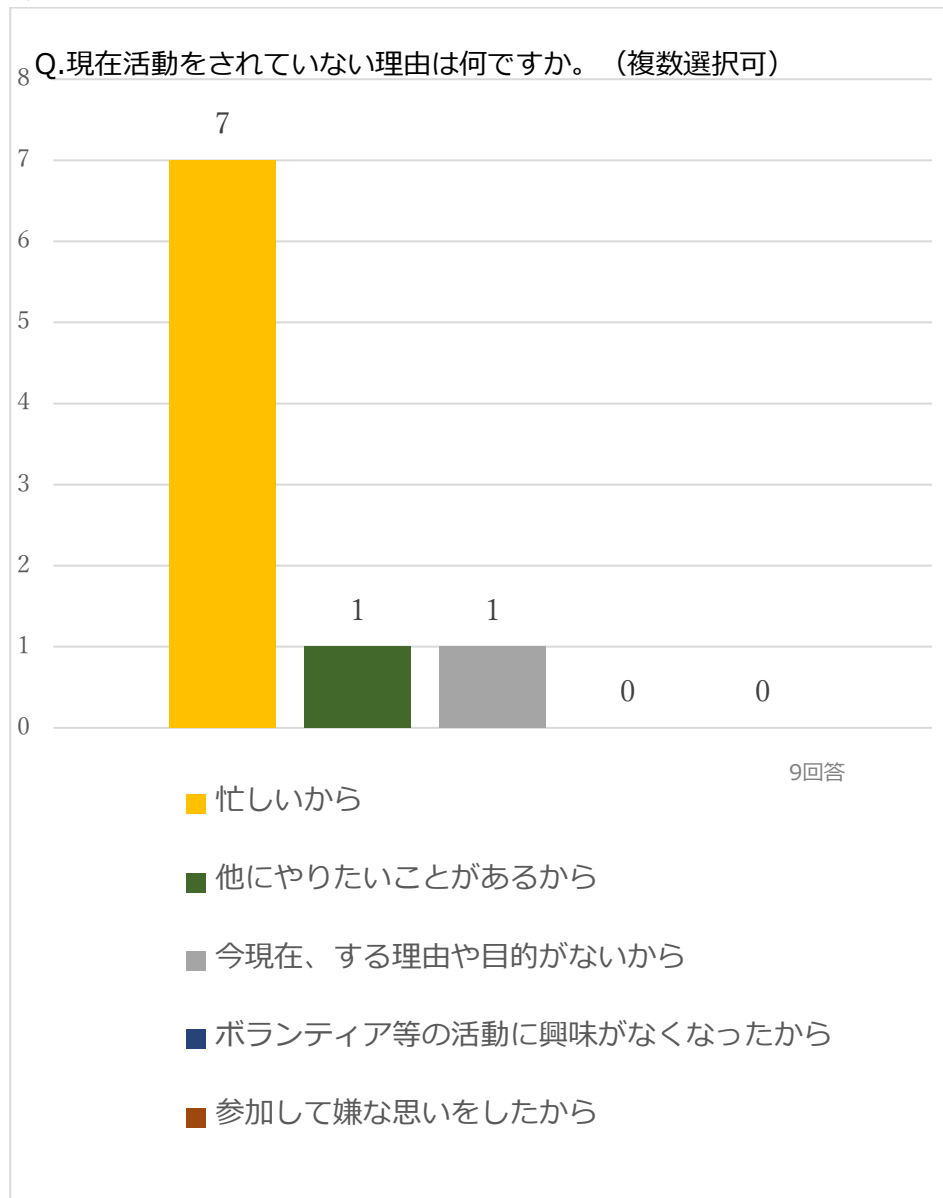


「先生」3回答と最も多く、「友達、同級生」「団体のチラシ」「ホームページ」「Instagram」「Twitter」「LINE」1回答となり、先生以外は、幅広く情報収集を行っている様子が見えらる。



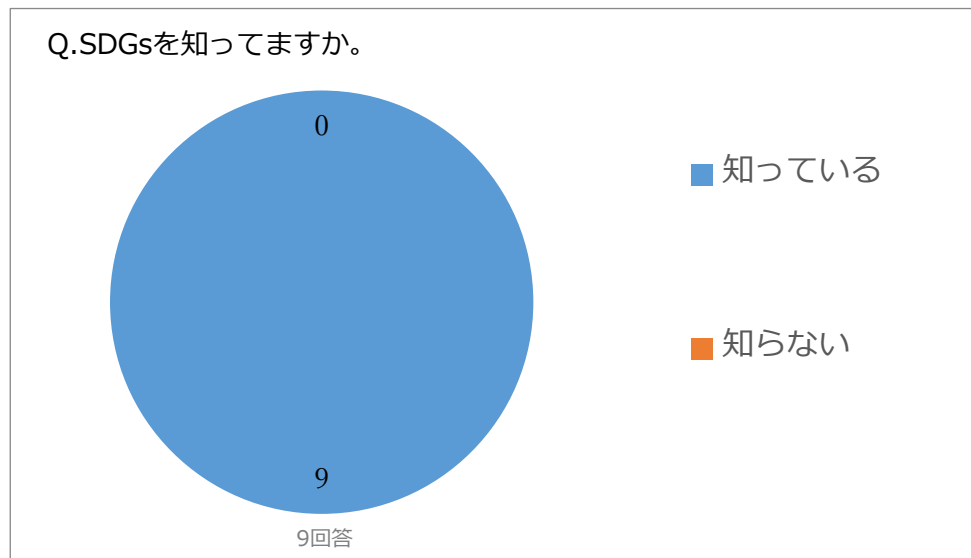
「活動を紹介する情報がもっと簡単に入手できる」「学校に活動の単位認定制度がある」3回答、「活動をする人達が気軽に集まる場所があり、情報交換できる」「活動がいつでも自由にできる環境がある」「活動資金がもらえる制度がある」が2回答、「活動のための知識・技術・経験を学ぶことができる」が1回答となっている。学生にとっては、活動情報をもっと簡単に入手できる環境、学校に市民活動の単位認定制度があること、市民活動を行う人が気軽に集まれる場所があり、情報交換できること、活動資金・活動環境への支援を求めていることがうかがえる。

Q3 - 7



「忙しいから」7回答と最も多く、続いて「他にやりたいことがあるから」「今現在、する理由や目的がないから」1回答となっている。学業やアルバイト、サークル活動など他の活動が忙しかったり、現在継続する理由や目的がなかったりなどの理由で市民活動を続けることが難しくなっている様子がうかがえる。

Q3 - 8

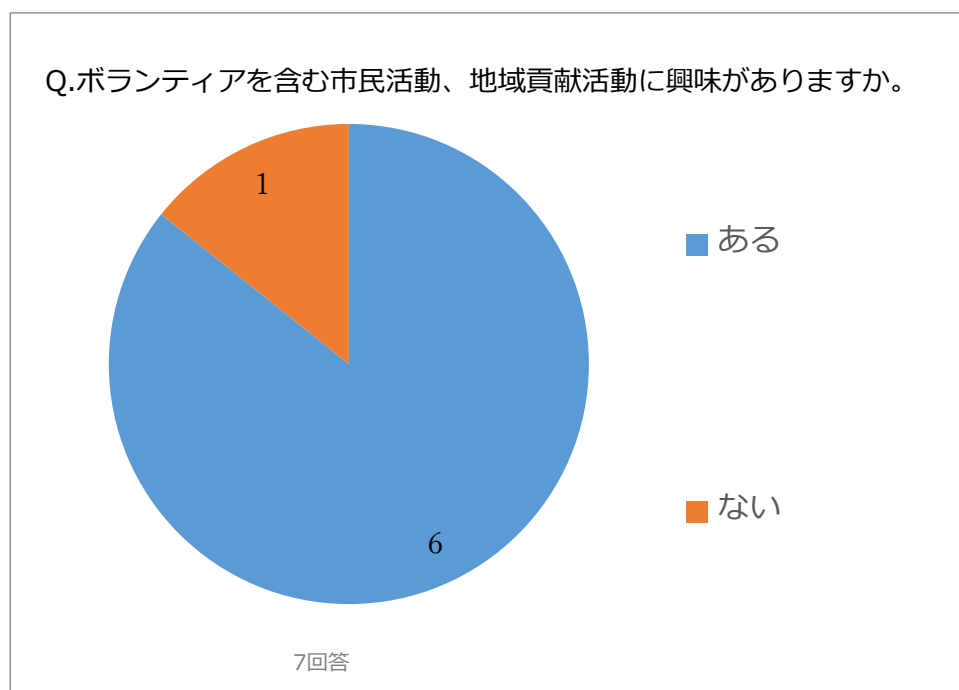


「SDGsを知っている」100%（9回答）となっている。

SDGs認知度が高まっている様子がうかがえる。

【ボランティアを含む市民活動、地域貢献活動をした経験で「過去に活動をしたことはあるが、現在はしていない」を選んだ方への質問】

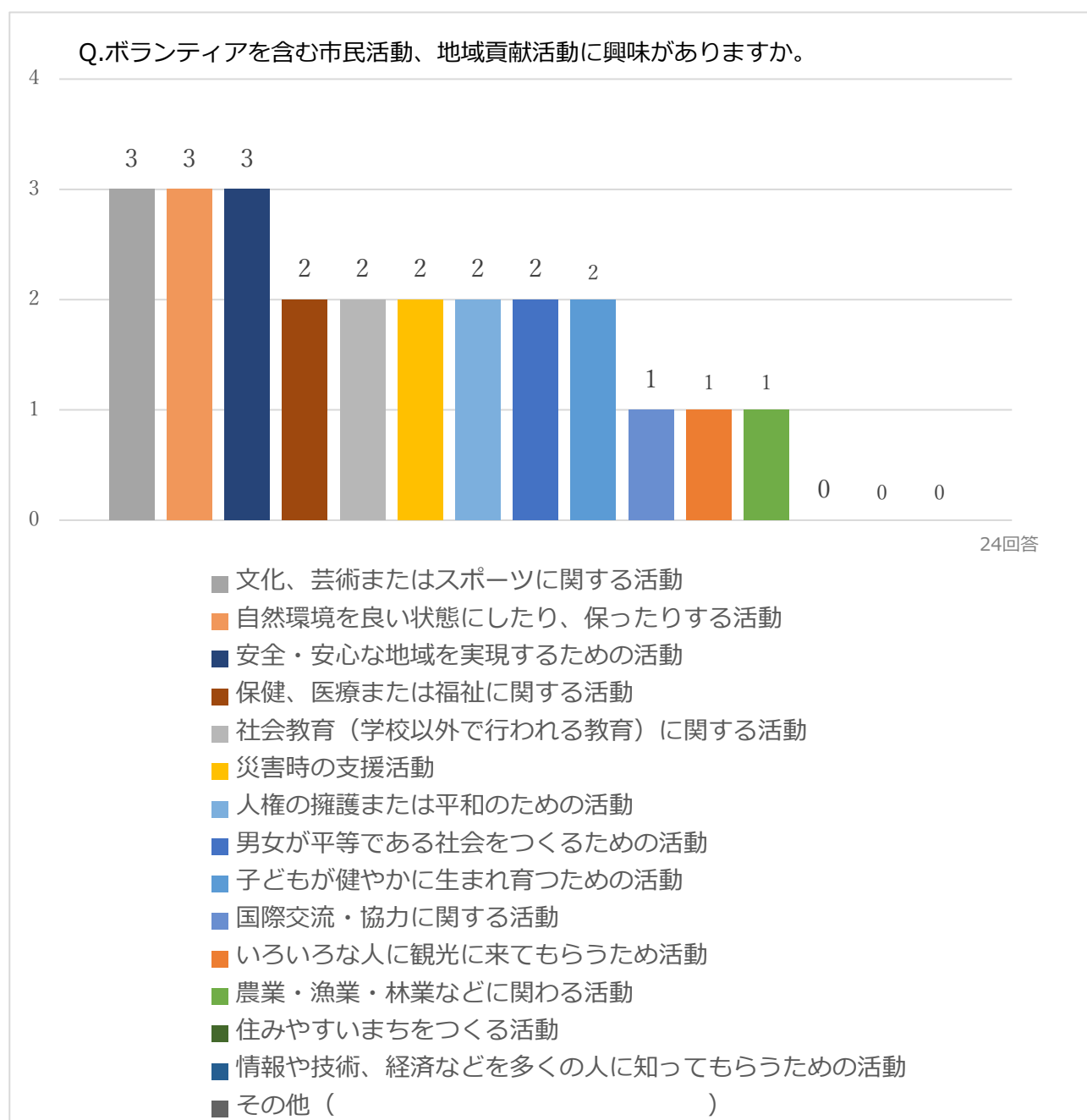
Q4



「市民活動、地域貢献活動に興味がある」85.7%（6回答）、「ない」14.3%（1回答）となっている。ご協力いただいた方の状況を反映し、市民活動、地域貢献活動に興味がある人の割合が多い様子がうかがえる。

【Q4.ボランティアを含む市民活動、地域貢献活動の興味の有無で「ある」を選んだ方への質問】

Q5-1



「文化、芸術またはスポーツに関する活動」「自然環境を良い状態にしたり、保ったりする活動」「安全・安心な地域を実現するための活動」が3回答、続いて「保健、医療または福祉に関する活動」「社会教育（学校以外で行われる教育）に関する活動」「災害時の支援活動」「人権の擁護または平和のための活動」「男女が平等である社会をつくるための活動」「子どもが健やかに生まれ育つための活動」が2回答となっている。文化芸術や環境保護、地域活動に興味がある人が多いが、全体として幅広い分野に興味がある様子がうかがえる。

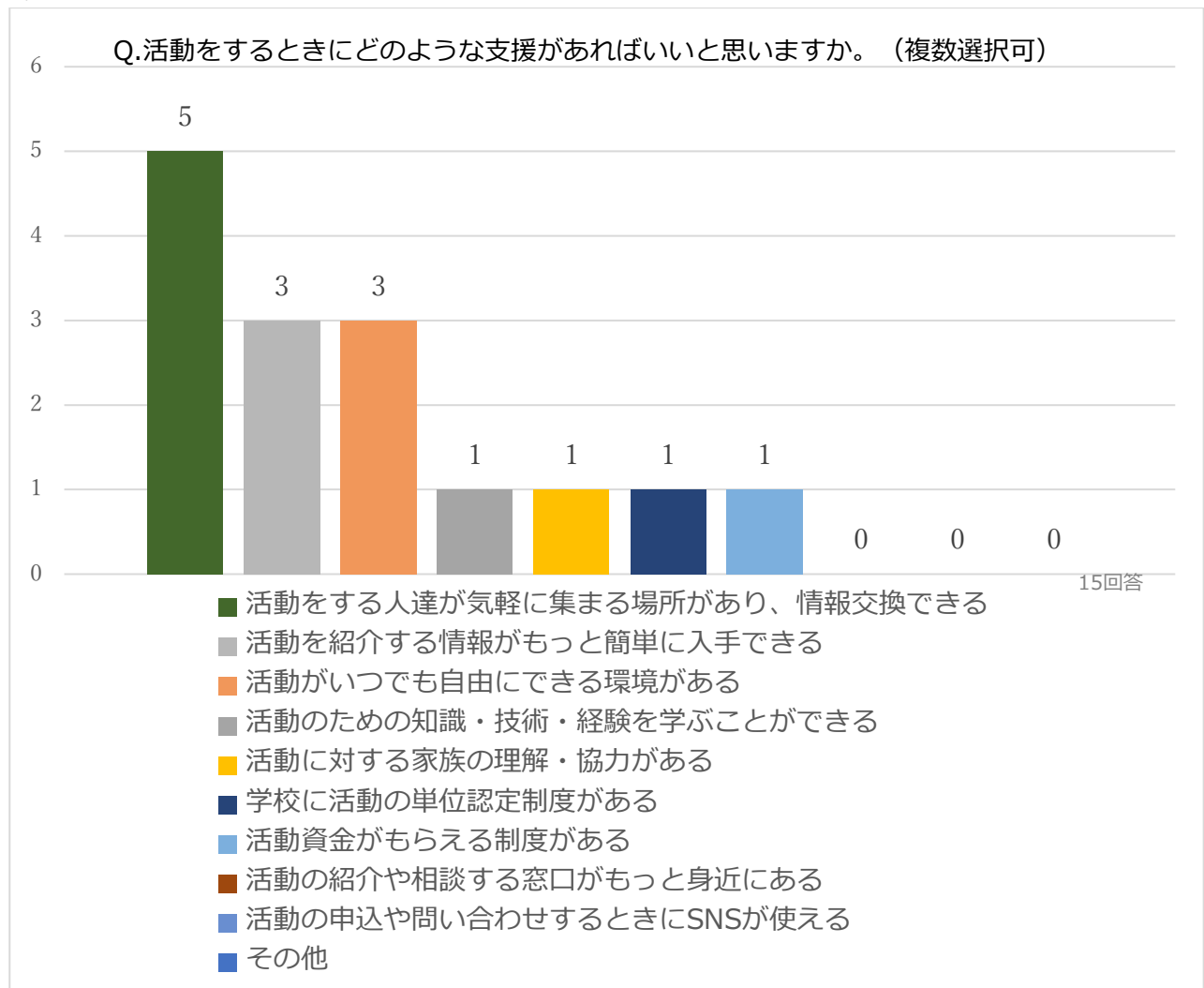
Q5 - 2

Q.その活動を選んだ理由は何ですか。

個人を特定できない範囲で、文章より一部抜粋しています。

- ・大学で学んでいるものに近いので、興味があるから。
- ・学校でユニセフや国際協力、男女の平等などを学んだから。
- ・子供が好きだから。
- ・社会の授業で学んだことをしてみたいと思ったから。
- ・どのようにして住みやすいまちづくりをしているか知りたいから。
- ・今より、自然環境がもっと良くなるようにしたい、安心して暮らせるような町にしたいから。
- ・医療の学校に通っているから。

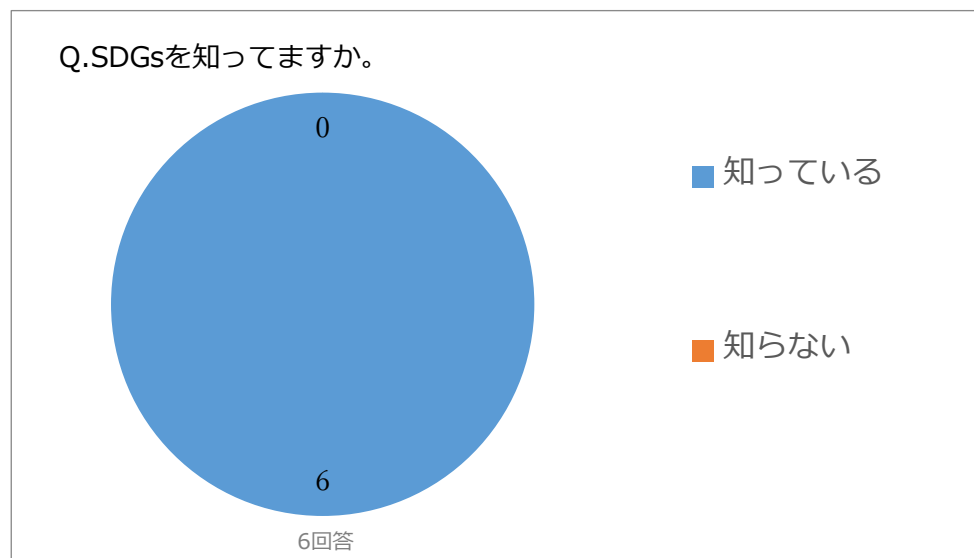
Q5 - 3



「活動をする人達が気軽に集まる場所があり、情報交換できる」が5回答と最も多く、「活動を紹介する情報がもっと簡単に入手できる」「活動がいつでも自由にできる環境がある」3回答、「活動のための知識・技術・経験を学ぶことができる」「活動に対する家族の理解・協力がある」「学校に活動の単位認定制度がある」「活動資金がもらえる制度がある」が1回答となっている。市民活

動を行う人が気軽に集まれる場所があり、情報交換できることが最も多かったため、市民活動をしたことがない人にとっては、気軽に話を聞ける場所が必要だと感じているようだ。活動情報をもっと簡単に入手できる環境、学校に市民活動の単位認定制度があること、家族の活動への理解など活動環境への支援を求めていることがうかがえる。

Q5 - 4

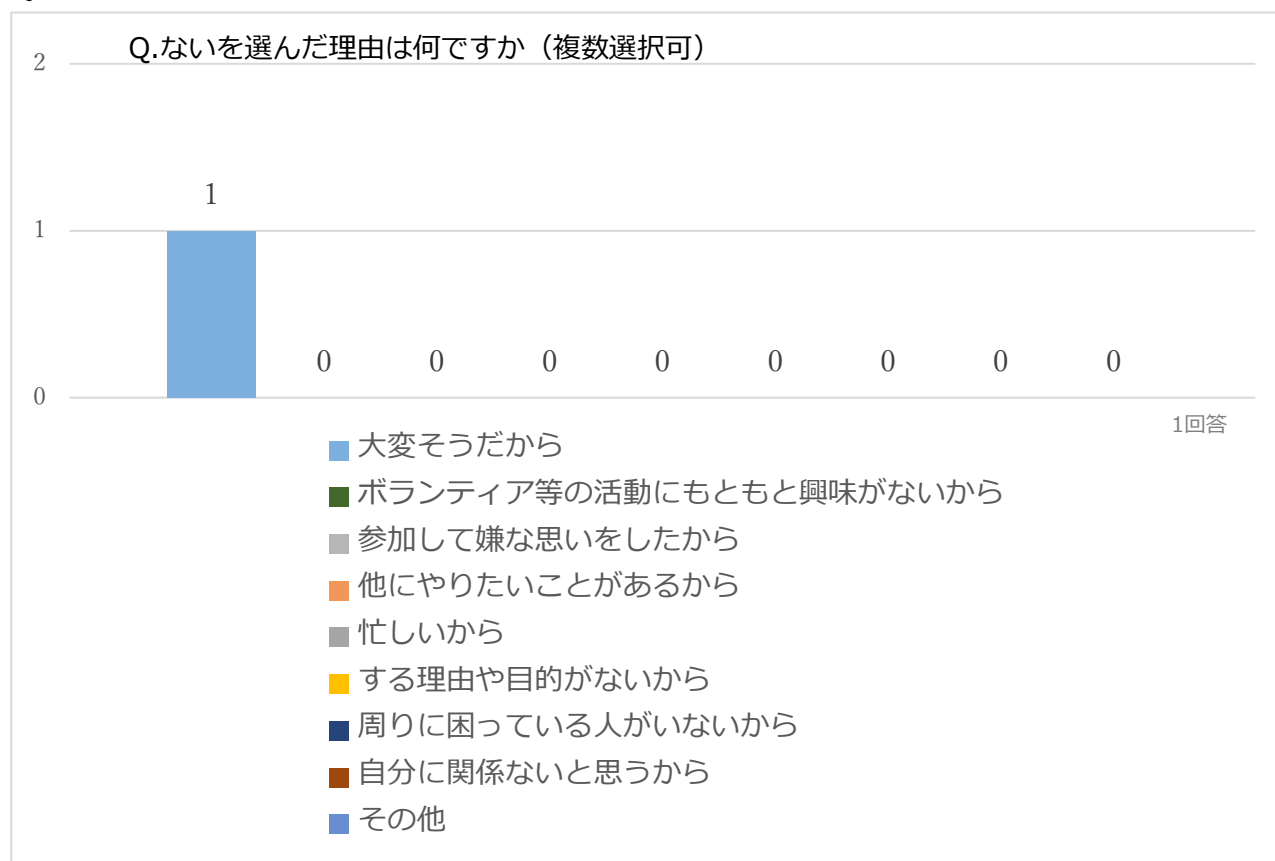


「SDGsを知っている」100%（6回答）となっている。

SDGs認知度が高まっている様子がうかがえる。

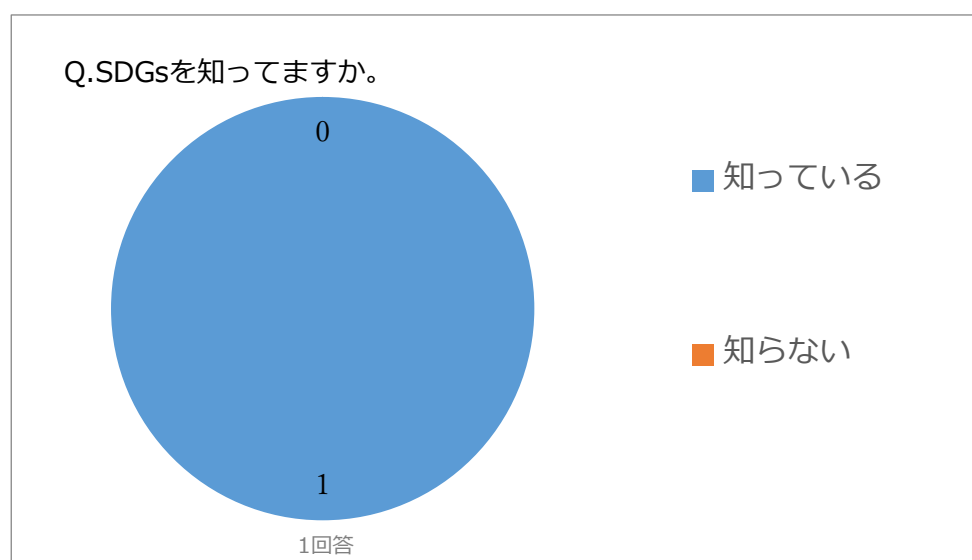
【Q4.ボランティアを含む市民活動、地域貢献活動の興味の有無で「ない」を選んだ方への質問】

Q 6 - 1



「大変そうだから」が1回答となっている。市民活動をしたことがない人にとって、大変そうなイメージがボトルネックとなっている様子がうかがえる。

Q 6 - 2



「SDGs を知っている」100%（1 回答）となっている。

SDGs 認知度が高まっている様子がうかがえる。